

ギガビット イーサネット インターフェイスを使用した CSS 11000 の Catalyst 6000 への接続

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定手順](#)

[CSS 11000](#)

[Catalyst 6000](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ギガビット イーサネット (GE) インターフェイスを使用して、コンテンツ サービス スイッチ (CSS) を Catalyst 6000 シリーズのスイッチに接続する適切な手順について説明します。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントの読者は次の項目に関する知識が必要です。

- 基本的な CSS 認証 基礎。
- 基本的な Catalyst スイッチ設定 基礎。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- CSS ソフトウェア バージョン 5.0 ビルド 33
- すべての CSS ハードウェア リビジョン。
- Cisco IOS システム ソフトウェアを実行する Catalyst スイッチ。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定手順

以降のセクションは CSS および Catalyst スイッチを設定するためにステップを提供します。

CSS 11000

正常なロードへの光では、CSS インターフェイス 1Gbits FD 一時停止を設定して下さい。これがされる場合、ポートネゴシエイションをディセーブルにし、Catalyst の送受信のフロー制御を消すために Catalyst インターフェイスを設定したことを確かめて下さい（下記の Catalyst 構成ステップを参照して下さい）。

```
CSS11800(config)# interface 2/1
CSS11800(config-if[ 2/1])# phy 1Gbits-FD-no-pause
```

頻繁に使用される期待された場合 1Gbits FDsym asym に CSS を設定することを考える必要があります。これがされる場合、Catalyst の送受信のフロー制御を始動させるために確かめて下さい（下記の Catalyst 構成ステップを参照して下さい）。

```
CSS11800(config)# interface 2/1
CSS11800(config-if[ 2/1])# phy 1Gbits-FD-sym-asym
```

Catalyst 6000

上記の 1Gbits FD 設定した場合ポートネゴシエイションをディセーブルにし、送受信のフロー制御を消すために Catalyst を設定して下さい。

```
cat(config)#int GigabitEthernet 1/1
cat(config-if)#speed 1000
cat(config-if)#flowcontrol send off
cat(config-if)#flowcontrol receive off
```

上記の 1Gbits FDsym asym を設定した場合送受信のフロー制御を始動させるために Catalyst を設定して下さい。

```
cat(config)#int GigabitEthernet 1/1
cat(config-if)#speed 1000
cat(config-if)#flowcontrol send on
cat(config-if)#flowcontrol receive on
```

関連情報

- [CSS 11000 シリーズ コンテント サービス スイッチのハードウェア サポート \(英語\)](#)
- [CSS 11500](#)
- [CSS 11000 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [CSS 11500 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)